

# 西南学院小学校 学校長メッセージ

## 「学校通信 Wings 2020年3月号」

主に望みをおく人は新たな力を得 驚のように翼を張って上る

イザヤ書 40章 31節

2019年度も最後の月を迎えました。2月の中旬には、大寒が遅れてやってきたかのような寒波が襲来し観測史上最も遅い初雪も観測されましたが、春の気配が日増しに感じられるようになってきました。新型コロナウイルス感染の影響が広がり続けています。本校でも、6年生のウイングツアーを国内へと変更せざるを得ませんでした。また、1年生～5年生の参観・懇談に際しては連絡が遅くなり本当に申し訳ありませんでした。歴史を繙くと、人類は幾度となく感染症の脅威に曝されてきたことが分かります。人や物の移動が盛んになるに連れて、特定の場所にしかいなかったウィルスが他所へと運ばれ、抗体のない人々が発症する。中世ヨーロッパで黒死病(ペスト)が大流行した背景には、十字軍の遠征やモンゴル帝国の版図拡大などによる大規模な移動があったと言われているそうです。私たちが世界中を自由に移動できるようになったことは素晴らしいことですが、その一方でやっかいな問題も抱え込むことになってしまったと言えるのかもしれない。

ところで、お子様から「どうして勉強しなくちゃいけないの?」と聞かれたら、どのように答えられるでしょうか。「なぜ学ぶのか」自明のことのようですが、改めて考えてみるとなかなか奥深い問いではないかと思えます。このことについては様々な観点から考えることができますし、正解は一つというものでもないでしょう。ただ、「将来困らないように」といった言い方よりは、自分の言葉として語ることができた方が説得力はあると思います。

今から30年ほど前、子どもたちに聞かれたのか学級懇談会のテーマとして取り上げたのか、きっかけは覚えていませんが、なぜ学ぶのかということについて自分なりに考え「3段階の学び」として整理してみました。少しでも参考になればと思いご紹介します。

まずは「生きるための学び」です。私たちが社会の中で生きていくためには、最低限の知識や技能(読み・書き・計算など)が必要です。社会が複雑化するほど、これらについても多くが必要になってくると思います。

次は少し大げさな言い方かもしれませんが「運命への隷属から解放されるための学び」です。自分がどのような境遇のもとに生まれてくるかは、自分で選ぶことができません。家庭環境が学力に及ぼす影響が大きいと言われてはいますが、今の日本では学力をつけることで進路の選択肢を増やすことができます。つまり自分の意志で進路を決め未来を選びとることができるということです。

最後は「豊かに生きるための学び」です。ここでいう豊かさとは物質的なものではなく精神的な豊かさです。たとえば音楽や絵などの芸術を鑑賞するとき、様式や技法、作者や時代背景などについて多くの知識があればあるほど、より深く味わうことができます。芸術だけに限らず多くのことを知ることで多くのことが「見えてくる」のだと思います。この段階になると、学ぶことイコール喜びと言えるのかもしれない。

以上、一つの考えとしてご紹介しましたが、「なぜ学ぶのか」と同様に「学んだことをどう活かすのか」ということも大切なことだと思います。小学生の間だけでは難しいことですが、子どもたちには、どちらについても自分なりの考えを持てる人間に育ってくれることを願っています。

西南学院小学校は、4月から新たな10年の歩みに入ります。単なるこれまでの続きではなく、より一層充実した教育を行うことができるよう、これまでの実践を振り返り様々な準備を進めているところです。今

年度は残りわずかとなりましたが、一日一日を大切に体調管理に十分気をつけて過ごすようにしてください。

(文責 宮崎 隆一)